東京理科大学近代科学資料館

科學雜誌

―科学を伝えるとりくみ―

来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム

2014年秋

入館無料

http://www.tus.ac.jp/museum/

理大 科学フォーラム
創刊30周年記念
特別展示

2014
10.17(金)
↳11.29(土)

開館時間　10：00～16：00
休館日　日曜・月曜・祝日
※11.23(日)･24(月・祝)は理大祭につき開館

主催　東京理科大学　近代科学資料館

展示協力　独立行政法人科学技術振興機構・独立行政法人国立科学博物館
株式会社裳華房・株式会社誠文堂新光社・株式会社日経サイエンス
東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫
株式会社ニュートンプレス・理大 科学フォーラム編集委員会

JR「飯田橋」西口　徒歩４分
地下鉄「飯田橋」B３出口　徒歩３分
住所　東京都新宿区神楽坂１－３
TEL:03-5228-8224　FAX:03-5228-8116

科学雜誌ー科学を伝えるとりくみー

理大 科学フォーラム創刊30周年記念 特別展示

2014
10.17–11.29

本学は「理学の普及」を建学の理念として設立された。まだ我が国に専門的な科学雑誌がない明治初期（明治21年（1891年）に、東京物理学校から「東京物理学校雑誌」を発行し、太平洋戦争末期の昭和19年（1944年）まで一般向けの科学雑誌として近代科学の啓発に寄与してきた実績がある。東京理科大学になってからは「SUT BULLETIN」理大 科学フォーラム」を発行して、理学の普及に貢献してきた。今年は「理大 科学フォーラム」が発刊されて30周年を迎えたので、それを記念して、本学の科学の普及に向けた上記の活動を展開する。我が国の一般向けの科学雑誌や、小中学生を対象とした「子供の科学」などの理科の普及を目指した活動を、これらの雑誌に記載されている実験を再現して演示する。

近代科学資料館 2F 企画展示室

東洋学芸雑誌

明治初期の文化人の杉浦重剛、千頭清臣外十哲次郎、磯野徳三郎らの協力のもとに、日本版 Nature 誌を目標として編集に携わり、東洋学芸社から1881年1月に発刊し1940年（昭和15年）に休刊になった。

●●●

東京物理学校雑誌

1889年12月に、東京物理学校の初代校長寺尾寿ら物理学校創設者が中心となって「東京物理学校同窓会雑誌」を発刊したが、2年後の1891年（明治24年）12月に表記の雑誌名に改名して再発行した。

右上「東洋学芸雑誌」第21号（明治16年6月発行）
左上「東京物理学校雑誌」巻之壱（明治24年12月発行）
右下「科学知識」第4巻 第12号（大正13年12月発行）
左下「サイエンス」（のちに「日経サイエンス」に改名）No.2（1971年11月発行）

科学知識

1921年に科学知識普及会（のちに公益法人「日本科学協会」）の活動の一環として創刊された、国策に基づく科学の啓蒙のための雑誌で、それまでのような専門性の高い内容ではなく、国民一般に分かり易い内容をめざした。

●●●

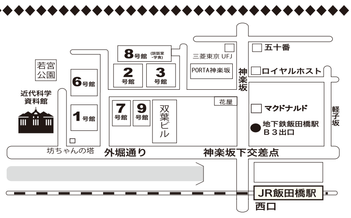
日経サイエンス

最も伝統あるアメリカの一般科学雑誌 Scientific American の日本版として1971年に創刊された。記事の大部分は翻訳で、スタイルも踏襲しているが、日本人の記事も加えて独自の編集を行っている。

東京理科大学 近代科学資料館
JR「飯田橋」西口 徒歩４分
地下鉄「飯田橋」B3 出口 徒歩３分
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3
TEL.03-5228-8224　FAX.03-5228-8116
http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum

開館時間　10:00~16:00
休館日　日曜・月曜・祝日・大学の休業日
※11/23・24は理大祭につき開館

入館無料



★関連イベント★
「おもしろ科学実験」
in 理大祭

日時　11月23日
11月24日(月・祝)
10:00-15:00
場所　近代科学資料館
2F 多目的室

東京理科大学
サイエンスコミュニケーションサークル
chibi lab. 協力

参加自由